

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No. 2 * *

— 島牧における初漁の漁獲物を測定 —

北海道立中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2009年4月28～29日に島牧海域において初漁があり、その漁獲物から採集いただいた標本の測定を行いましたので、結果をお知らせします。関係者の皆様、調査にご協力ありがとうございました。

主群は適正サイズに加入 → 5月半ばまで漁獲対象に

上の図が、前報でお知らせしました4月19日、20日の漁期前調査で採集された標本の体長組成で、下の図が、今回、4月28日の島牧の初漁で漁獲された漁獲物の体長組成です。漁期前調査（前報）で主群と見なした体長18mm平均の群（赤丸）は、予想どおり今週初めには適正サイズに達しました。この群が、今後も例年並みの速度で成長するとすれば、5月半ばには40mm近くまで達することになり、その頃まで漁獲対象になるとみられます。また、今回の標本には、体長18mm付近、14mm付近にも後続のふ化群とみられる個体が、わずかでしたが含まれていました。これらの豊度は、今後の漁獲量や終漁時期にも大きく影響すると考えられますが、現時点では詳しい状況は不明です。今後の漁獲物組成の推移を注視していきたいと思いますので、引き続きご協力よろしくお願ひします。

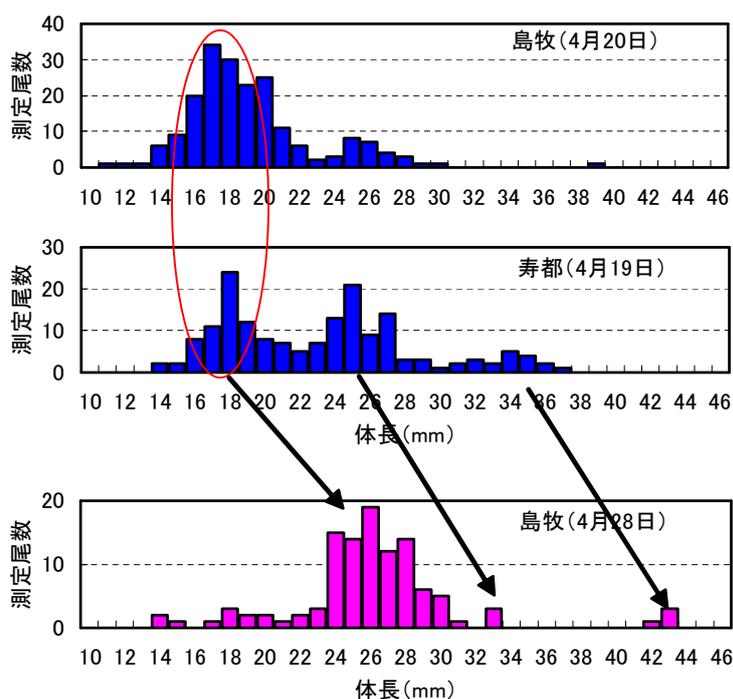


図 コウナゴの体長組成

上図：4/19,20日（漁期前調査） 下図：4/28（島牧）